

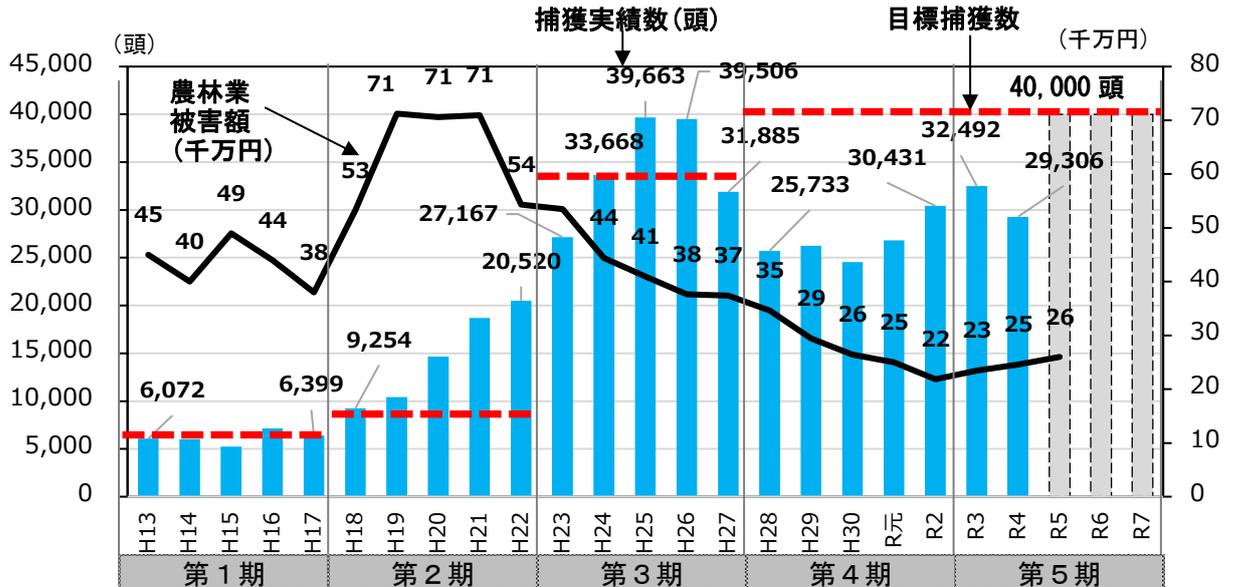
ニホンジカ対策について

森林づくり推進課鳥獣対策係

1 これまでの経過と第5期ニホンジカ管理計画

(1) 経過

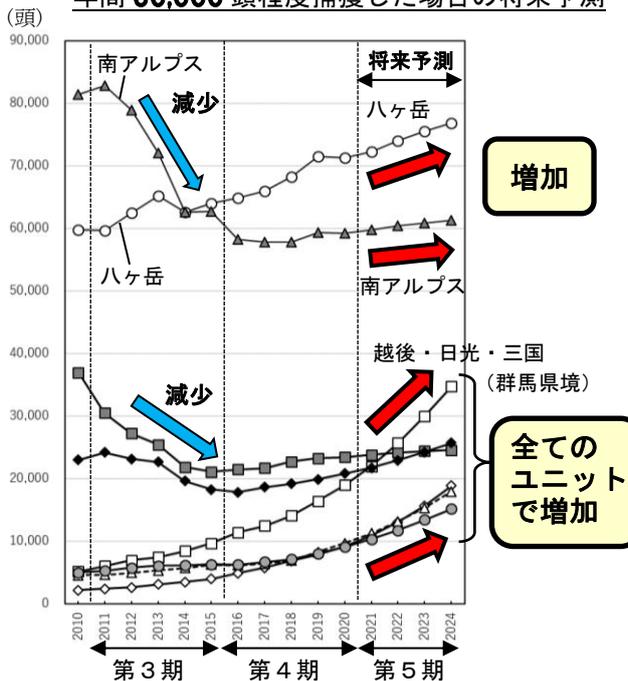
- ・これまでの対策により、農林業被害額は減少しているものの、依然高い水準
- ・高密度生息地域では、シカの採食等により自然植生の衰退が進行
- ・第4期以降においては、目標捕獲数が未達成



(2) 生息数の推移と将来予測

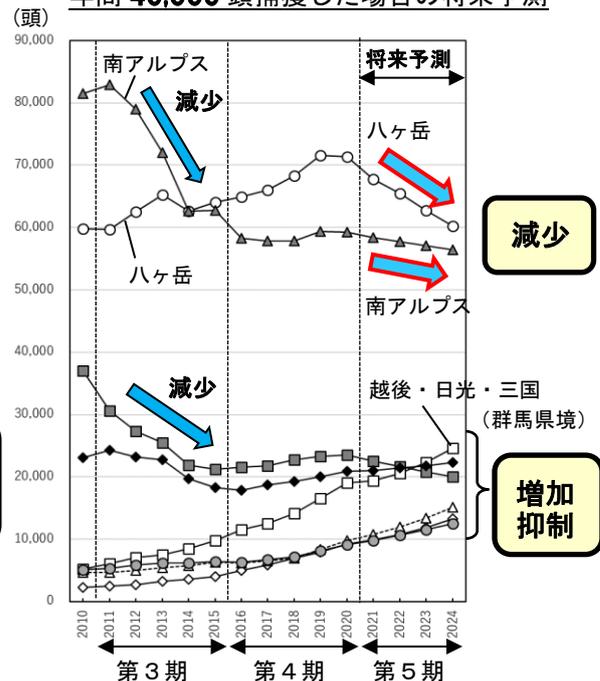
- ・年間 30,000 頭程度の捕獲で推移した場合は、将来全てのユニットで生息数が増加すると予測
- ・年間 40,000 頭の捕獲で推移した場合は、将来減少または増加が抑制されると予測

年間 30,000 頭程度捕獲した場合の将来予測



推定生息数 約 22 万頭
(令和元年度末 中央値)

年間 40,000 頭捕獲した場合の将来予測



2 今後の対策

(1) 対策方針

- 高密度生息地や繁殖地での積極的な捕獲
- 新たな繁殖地をつくらせない（高密度生息地を広げない）

(2) 主な取組

① 高密度生息地における捕獲の実施

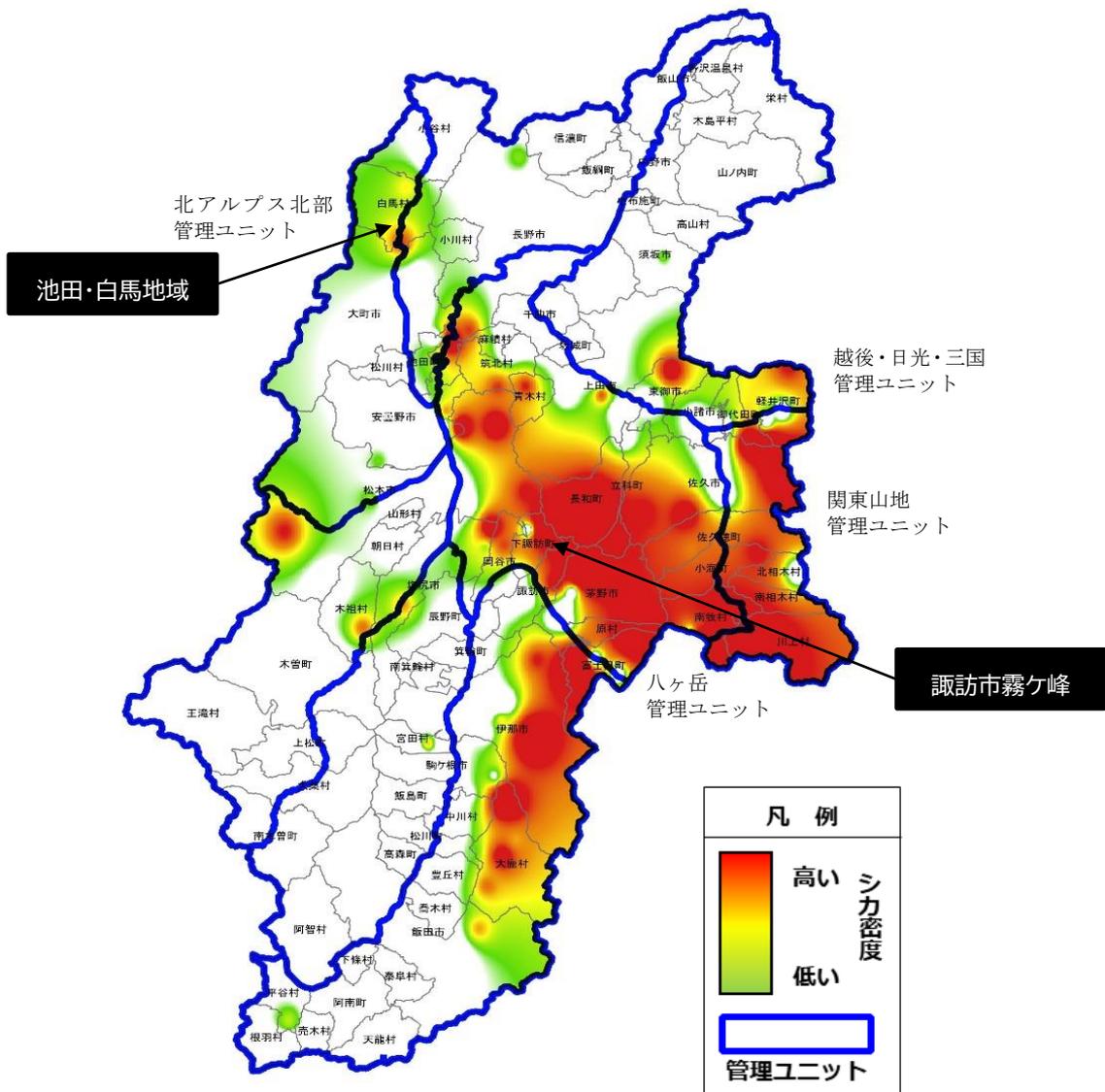
- 霧ヶ峰地域でセンサーカメラを活用した捕獲実証（令和4年度～）

② 高密度生息地の拡大抑制

- 北アルプス地域におけるセンサーカメラを活用した広域捕獲の実証（令和6年度～）
- 群馬県と連携し ICT を活用した広域捕獲の実証（令和4年度～）

③ 被害市町村における集中的な捕獲の実施

- 集中的にシカ被害を低減させる「シカ特別対策事業」の市町村への活用支援



鳥獣被害防止総合対策交付金 (R5補正)

シカ特別対策事業

<対策の概要>

- 鳥獣による農作物被害は156億円となっており、うちシカの被害は65億円（全体の4割）となっている。
- シカの個体数は依然として高い水準にあり、一部では増加に転じている中、早急に個体数を大きく減らすための対策が必要。
- このため、当面の間（3年程度を想定）集中的にシカ被害を低減させるための特別対策の実施を支援する。

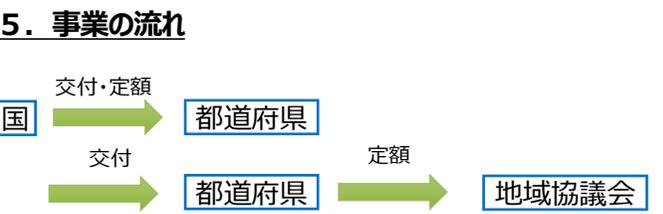
<事業の内容>

- #### 1. 事業内容
- 既に把握されている被害要因、生息状況等に基づいたシカの個体数減少に資する取組を支援
 - シカの個体数減少の促進に資する取組を合わせて行うことができることとする
(緊急捕獲等既存の事業とは期間や区域等を区別して行う)

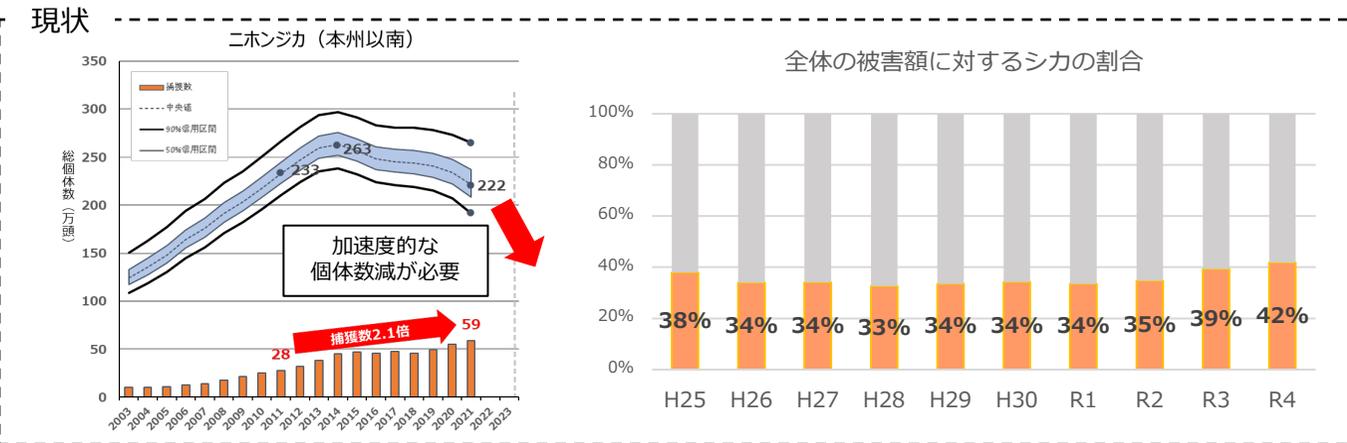
- #### 2. 補助率
- 定額（都道府県 3,000万円、協議会 300万円）

- #### 3. 事業主体
- 都道府県
 - 地域協議会

- #### 4. 採択要件
- 被害要因、生息状況等が把握した上で、捕獲活動を行うこと
 - 個体数減少に向けて捕獲目標頭数を定め、捕獲活動を実施すること



<事業イメージ>



シカの個体数は高水準であり、これを減じる対策を推進する必要

